

## がんを予防するために

10月は、がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間です。日本人の2人に1人はがん(悪性新生物)になる現在、がんは早期に発見・治療をすることで、死亡のリスクを軽減できると言われています。

【問】健康づくり課(古河福祉の森会館) TEL48-6882



### 市のがん検診結果状況

日本人の3人に1人はがんで亡くなっており、市でも、死亡原因第1位は5年連続でがん(悪性新生物)です。

また、検診を受けた人で、がんと診断された人は次の表のとおりです。

(単位:人)

種類	年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
肺がん		7	8	5
胃がん		14	6	8
大腸がん		17	23	22
子宮頸がん		0	1	1
乳がん		14	13	17
前立腺がん		13	14	12
合計		65	65	65

### がん予防のための健康習慣

- ・禁煙
- ・飲酒はほどほどに
- ・バランスのよい食事
- ・適度な運動
- ・適正な体重維持



### がん検診を受けましょう

進行した場合の10年生存率は、乳がん15.4%、大腸がん9.5%、胃がん・肝臓がん・肺がん6%以下となっています。

しかし、早期の乳がん・大腸がんは、生存率が90%以上です。

早期のがんの多くは、自覚症状がありません。あなたとあなたの大切な人が、がんで命を落とさないために、定期的ながん検診を受けましょう。

## マナーを守って美しいまちに

10月は「飼い主マナー向上推進月間」です。あなたの愛犬・愛猫が近所から好かれるために飼い主としてマナーを守り、人とペットの調和のとれた住みよい社会を作りましょう。

【問】環境課(三和庁舎) TEL76-1511

### 犬の放し飼いはやめましょう

犬は放し飼いにせず、散歩するときは必ずリードをつけましょう。また、猫には首輪や名札等をつけ、室内飼育を心掛けましょう。

### 野良犬・猫への餌付けはやめましょう

一時的な感情で餌付けをするのはやめましょう。結果的に交通事故や病気などで死亡する不幸な命を増やすこととなります。

野良犬・野良猫に餌付けをした時点で飼い主と見なされ、その犬・猫が問題を起こした場合、責任を問われることもありますので、餌を与えるのであれば、他の人に迷惑をかけないよう責任を持って飼育しましょう。

### 鳴き声・悪臭に気を付けましょう

無駄吠えしないように、日頃から適切にしつけましょう。また、ペットの小屋やその周辺をこまめに掃除して悪臭の発生を防ぐなど、飼育環境を清潔に保つように心掛けましょう。

### ふんは必ず持ち帰りましょう

放置したり、その場に埋めたりせずに、必ず持ち帰りましょう。



## 古河市農業委員を紹介します

農業委員は、農地の権利移動や農地転用の許可・届出業務、利用権設定の促進、農地利用の最適化の推進などを行っています。

任期満了に伴い、6月の古河市議会の同意を得て、9月12日市長が19人の新農業委員会委員を任命しました。

また、同日開催の総会において、会長に船橋新五氏、会長職務代理者に鈴木実氏、関口正一氏を選出しました。新任期は平成30年9月12日から3年です。

【問】農業委員会事務局(三和庁舎)

TEL76-1511



(敬称略・議席順)

番号	氏名	住所地	備考
1	落合美代子	高野	
2	山室順一	下辺見	
3	安喰弘司	上大野	
4	吉葉英雄	東山田	
5	関口幸一	下大野	
6	五月女登	鳥喰	
7	鈴木実	大山	会長職務代理者
8	森田勝	仁連	
9	染野正美	尾崎	
10	梅田満	久能	
11	増田榮一	東山田	
12	船橋新五	新和田	会長
13	関口勝美	関戸	
14	山田正	東間中橋	
15	印出正信	上辺見	
16	黒子邦夫	諸川	
17	荒川重男	東山田	
18	関口正一	釈迦	会長職務代理者
19	湯本豊	東山田	

## 10月18日は「統計の日」です

統計とは、一定の条件で定められた集団について調べた結果を、集計・加工して得られた数値です。まちや人の状態、またはその要因を統計から明らかにすることができます。その結果は、各種行政施策や社会・経済活動の指標となる資料として、さまざまな分野で幅広く活用されます。調査対象となる世帯や、事業所・企業の皆さんは統計調査へのご理解とご協力をお願いします。

【問】情報統計課(総和庁舎) TEL92-3111

### 「統計の日」とは

明治3年9月24日、日本で最初の近代的生産統計「府県物産表」に関する太政官布告が公布されました。この日を太陽歴に換算した10月18日を「統計の日」としています。

### 統計調査

統計を作成するために行われる調査のことを統計調査といいます。統計調査には、調査の中でも最も知られている国勢調査をはじめ、経済センサス、農林業センサス、住宅・土地統計調査、工業統計調査などがあります。社会・経済のあらゆる指標を集めるためにさまざまな統計調査が行われています。

